



社会福祉法人創和

創和便り



和を創りだす共同体



こころの病を 経験した人も してない人も
ともにたまものを 分かち合い 幸福と尊厳を とり戻そう

紙一重の強さ

理事長 岩崎廣司

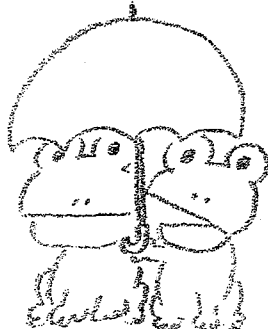
よく勝負事で、「紙一重の強さ」と将棋の藤井 颯太、大リーグでの大谷翔平など勝負の世界、プロの世界では勝敗を分けよく使われますが、うすい紙一枚ほどの厚さのほんのちょっとした違い。「紙一重の差」とはどんな差なのでしょう。プロの世界で多くのドラマが起こっていますがどうも偶然にできるものではないようです。プロの世界で生き抜くためにはこの紙一重の強さが勝敗を分け、一つ一つの勝ちが積み重なって頂上へ上り詰めていきます。

天性があっても強さを磨いていくには、課題が多くても未知の局面で考え抜き、判断する力、勝ち抜く力を磨き続けていく努力が必要で、失敗を恐れず、「失敗はうまくいかなかったことの発見」と捉えて課題を考え抜き、鍛錬し、チャレンジしていく姿勢が紙一重の勝敗を分けていくのではないかなと思います。

出口の見えないコロナ禍であっても、福祉の現場でも「一つ一つの紙一重の対応」が利用者の信頼を得て利用者の成長につながり、利用者の喜びが支援者の喜びとなり共に成長につながっていくのではと思います。

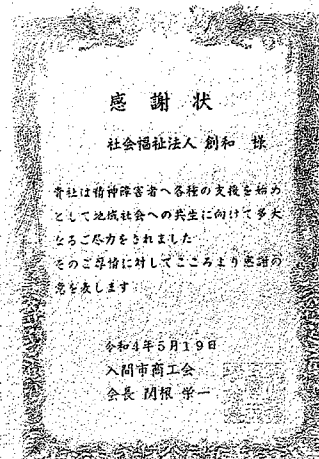
目指したい姿から何をなすべきかをともに考え「紙一重の努力」をしていくことが重要だと思います。

コロナ禍の中で支援の働き方も変化し、多様化しています。従来のやり方にとらわれることなく新たな支援の在り方をともに考えて行きましょう。



社会福祉法人 創和の事業

- ・就労継続支援 B 型事業所
創和ユニット 入間市久保稲荷 1-27-4
TEL/FAX 04-2963-3927
厨房 TEL 04-2946-7855
- ・就労継続支援 B 型事業所
満天工房 入間市東町 1-10-3
TEL/FAX 04-2968-7341
- ・地域活動支援センター つどい
入間市豊岡 3-8-5 あたご坂ビル 201
TEL/FAX 04-2964-2117
- ・共同生活援助事業・自立生活援助事業
東町ホーム TEL 04-2965-0370
- ・相談支援事業所 創和
入間市東町 1-10-3
TEL/FAX 04-2946-9563
- ・入間市障害者就労支援センター りぼん
入間市役所 3 階 TEL 04-2964-1111 内 3202
FAX 04-2966-6791
- ・カフェ&レストラン、ゲストハウス むつみ
飯能市小久保 264-1
TEL080-7566-6671
- *
- ・法人本部 入間市久保稲荷 1-27-4
TEL/FAX 04-2965-9978



入間市商工会様より
感謝状を頂きました

色々お世話になりました

元理事長の川村邦彦さんは、昨年11月27日、東京青山のご自宅で娘さんたちに看取られ75歳の人生を終えられました。娘さんからのご希望で法人への連絡が遅くなり年が明けてからの報告となりました。

10月初め四国小豆島に行ってきた第二の四国逍遥を始めると話をしていた矢先にあっという間にこの世を去ったとの事でした。

川村さんには平成24年(2012年)松井理事長の補佐役として常務理事を引き受けていただき、平成20年創和の創始者松井理事長が死去後2期に亘って理事長をお受けいただき私たち支援者が安心して仕事ができ、また利用者にとってのよき理解者となり法人の運営にたずさわっていただきました。

皆さんから思い出をいただきました。(岩崎)

川村さんとの出会い

理事長 岩崎廣司

以前、将来構想検討委員会で理事の當間さんと二人で松井さんに川村さんに業務理事を引き受けてもらうには松井さんから直接お願いするほかないとって常務理事を引き受けてもらいました。挨拶に来られた時、常務理事を引き受けてもらった人がまさか以前「ハタヤの稲荷」あの時出会った人とはわかりませんでした。

入間市に伝わる民話が元になった作品で2009年に全国東宝系で公開されたフルCGアニメ「ホッタラケの島～遥と魔法の鏡～」巡りで作品中に、入間市の街並みや出雲祝(いずもいわい)神社、舞台となるのは、宮寺地区にある「出雲祝神社」。

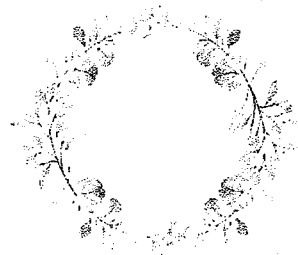
そして、この出雲祝神社の近くに実在する「ハタヤの稲荷」という神社にお参りして卵を供えようと、探していたものが帰って来るという言い伝えがある「ハタヤの稲荷」巡りを「ひばり」が主催で創和の利用者とボランティアの交流会に初めて「ヒョーヒョー」とした川村さんと出会ったその人でした。

四国逍遥

2016年に私家版として発刊された、237頁の四国逍遥をいただいて川村さんの気ままな生活の思いを知り、たいそうなお願いをしてしまったことを知りました。

大学を早期退職して3年後法人と関わる中で「この国の民族史と近現代史を独修して関連史跡を訪ね歩く」を実践していた中、天からふってきたのはそれと大違いのたいそうなお仕事を松井理事長の依頼で「わかりました」と返事をした自分がいた。と書き留めています。

そのため組織人としての大役の中、思いを実行するため夏休みと年末年始の夏冬遍路を4回に分け76日数年かけて四国遍路を実施。夏の暑い日、八十八番大窪寺に到着し祈願が成就しますよう、二つの祈りと二つの願いが書かれた紙片を納札箱に奉納したと記されています。松井さんの亡き後法人の将来の道筋をつけていただき有難うございました。



どうぞ安らかにお休みください

黒古次男

川村さんの突然の訃報にびっくりしました。青山の方へ引っ越されても元気でお過ごしのことと信じていました。

川村さんとは、常務理事になられたときからのお付き合いで、松井さんが旅立たれたあと、理事長として創和を牽引してくれました。私が理事長を引き継いだあともことあるごとに相談にのっていただき大変心強いサポートをいただく事ができました。感謝してもしきれません。そればかりでなく、若い頃のヨーロッパへのバックバック旅行、四国遍路の話、文学論や障がい者運動のことなど、さまざまな話をしたことも忘れられません。きっとあちでも川村さん独特の語り口で、見聞をひろめているのではないのでしょうか。

どうぞ安らかにお休みください。

川村元理事長を偲んで

評議員 山中みどり

川村さんに最後にお会いしたのは、もうずいぶん前のことです。イルミンに行く途中、創和近くまで来た時、歩いて創和に向かう川村さんに出会いました。小さなレジ袋を下げていらっしゃって「創和の菜園で収穫してきた野菜ですよ」とおっしゃった時の和やかな笑顔が今でも心に残っています。本当に笑顔の穏やかな方で、私が家族会会長として様々なお願い事、ご相談事を持ちかけてもいつも親切に話を聞いてくださり、家族会は一人ぼっちではないんだ、と強く心に感じました。私の記憶違いかもしれませんが、ご病気だった親友の縁で創和においでになったとか。その話をお聞きして、なんて愛情深く心の広い方なんだろうと思いました。

お人柄をしのびつつ心よりご冥福をお祈りいたします。

内部研修での思い出

理事 斎藤秀一

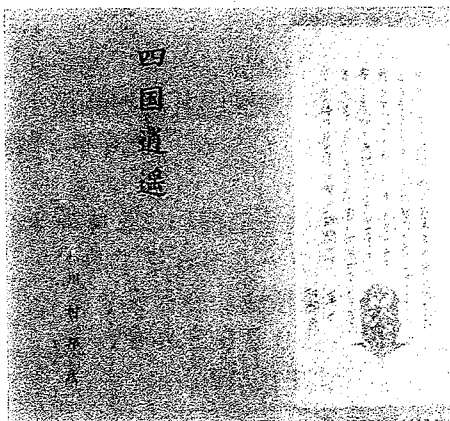
川村さんとは、今から25年くらい前、私が狭山保健所に勤務していた頃、個別支援のケースを通して出会いました。

その後、松井さんのご縁で創和の理事会で一緒させていただくことになりました。松井さんの後を受けて理事長としてご活躍されており、大変ご苦労も多かったことかと思えます。

今も思い出すのは、創和の理事による職員研修の時に「こんな研修が開けるのは創和だけです。」と誇らしげな柔和な笑顔です。

また、「四国遍路」に関する本も執筆されており、多方面でご活躍されている方だったと記憶しております。

謹んでご冥福をお祈りいたします。



川村さん有難うございました。

監事 上野容子

川村さんが松井さんから理事長後任を頼まれ着任なさった後、今後の創和の事業・活動をお考えになるために豊芯会を2度にわたって見学に来られました。

2回とも、一日がかりで熱心にご質問やご意向をお聴きしたことを思い出します。

去年は、むつみの家にも来てくださり、ご一緒にお食事をしながらお互いの近況を話し合う機会もありました。飯能駅でばったり会い、駅まで安藤さんが迎えに来てくれていたので、ご一緒にお誘いすると「歩いて行ってみます」と健脚ぶりを窺わせておられたので、お元気な川村さんの様子しか浮かびません・・・。

ご冥福を心からお祈り申し上げます。

川村さんをしのんで

大前牧子

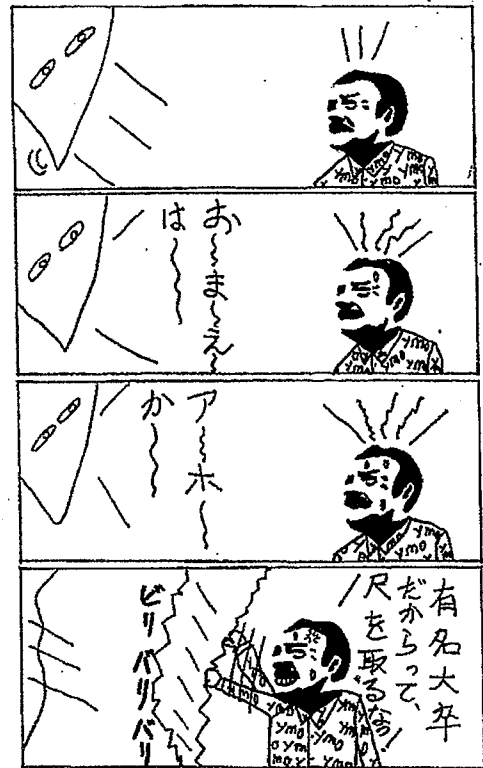
数年前の桜の時期のことでした。さきわいといぶきのメンバーさんと皆で彩の森公園にお花見に出かけました。

確か、翌年に満天工房が開設されることが決まりつつある頃で、さきわいのメンバーさんといぶきのメンバーさんの交流会を兼ねてクイズやゲームを楽しんでいました。その時、川村さんがメンバーさんのNさんを連れて現れました。ちょうど、その時私が男性メンバーで70kgくらいの体重のIさんをおんぶして小走りしていました。それを見た川村さんはなぜか対抗意識を燃やし、近くにいたH職員（女性）を指名し、おんぶしてあげると言いました。Iさんと同じくらいの体重を見なされ、H職員はプリプリ怒り「川村さん失礼ですよ！」と言いました。皆、その様子を見て大いに笑いました。沢山の思い出の一つです。



こんなBOSSはヤダ!

No.61
今#434



イベント情報

ABC

『英語であそぼ』

日時：6月16日（木）10：15～11：30

場所：イルミン

幅ひろいレベルに合わせて英語を楽しめます
ふるってご参加ください！

問い合わせはつどいまで

編集後記

新年度がスタートし早くも1ヶ月が過ぎました。過ぎしやすい季節となりゴールデンウィークは、皆さんいかが過ごされましたか？

今号の発行にあたり寄稿して下さった皆様に心より感謝申し上げます。

次号から新たなメンバーで創和便りを発行して行きますので今後ともよろしくお願い致します。



いつもありがとう



後援会費及び一般寄付のご報告

** 皆様の温かいご協力に感謝いたします 大切に使用させていただきます **

令和3年12月26日～令和4年4月25日

この間に13名の方と1企業からの寄付金・後援会費などで、3,392,000円、他に多数の方々から寄付品等のご協力をいただきました。ご協力いただいた方々のお名前を掲載させていただきます。

* 磯野達雄、関淑子、大淵優香、守屋朝夫(狭山ヶ丘病院)、吉田実、アンソワン・デ・モンシュロ、鈴木正敏、吉澤肆喜、重盛美智子、坂本喜代子、小林輝子、外山憲子、株式会社磯野商会
(順不同、敬称略)

— 寄付金を募集しています —

** 寄付金など、常時募集していますので、皆様の温かいご援助をお願いします **

後援会・寄付の振込先口座：ゆうちょ銀行 00160-2-591708

他銀行からの振込：ゆうちょ銀行 ゼロイチキュウ店 当座預金 05917

銀行振込は、埼玉りそな銀行 入間支店 普通口座 4005748

(シャカイフクシハウジンソウワリジチュウイワサキヒロシ)

寄付金は税金控除の対象になりますので、寄付の際は領収書をご請求してください。